

県交通安全施設業協会「令和6年賀詞交歓会」開く 関係者約160人が会員の団結と業界の発展を誓う



交通安全施設業の関係者約160人が出席し、盛大に開かれた「令和6年賀詞交歓会」



主催者挨拶の田中会長

（一社）福岡県交通安全施設業協会（田中賢哉会長、会員101社）の「令和6年賀詞交歓会」は19日、福岡市の博多サンヒルズホテルで開催した。交歓会には会員や来賓の福岡県県土整備部幹部職員、県議会議員（顧問）、関係団体の関係者約160人が出席し、会員相互の団結強化と業界の更なる発展を誓い合った。



来賓挨拶の原口県議

交歓会では、白石貴博理事（㈱白石道路施設）の開会挨拶に続いて、来賓として福岡県の馬渡真吾県土整備部部長と幹部職員、顧問の原口剣生県議会議員（自由民主党福岡県支部連合会会長）と藏内勇夫・松尾統章県議会議員、県土木親和会役員の紹介があった。主催者挨拶で、田中会長は「協会設立8年目となります。正会員71社、賛助会員30社の合計101社の専門工事業団体となり、行政の認知度も上がってまいりました。今年は働き方改革等、職場環境が大きく変化するかと思います。交通安全施設の整備や維持は社会にとって不可欠な資本

であり、課題も山積していますが、皆様と共に知恵を出し合い、団結し、乗り越えていきたい」と新年に向けての抱負を述べた。

来賓挨拶では、福岡県議会議員の原口会長は「うきは市では、現在ロータリーを造っております。交通安全施設業協会の皆様方にご検討賜り、県土整備部が担当する中において実施しております。昨年、田主丸では大雨により大変な災害が起きました。そのような中で、山奥においても分かりやすい形での安全施設工事を実施していただき、おかげさまで現在、復興の兆しが見えているところです」と挨拶した。

また、福岡県県土整備部の馬渡部長は「福岡県下におきましては、皆様のご協力のもと、交通安全対策、特にカラー表示や路面標示の迅速な側溝対策を進め、昨年12月末に暫定的な対策を終了することができました。県土整備部として、これまで進めてまいりました交通安全対策につきまして、皆様方のご協力を頂きながら、また県議会の先生方のご指導も頂きながらしっかりと進めていきたい」と挨拶した。

あいさつの後、星子洋満副会長（双葉工業㈱）の発声で乾杯。出席者は和やかに歓談を重ねつつ、会員企業の団結・強化を誓い、業界の更なる発展を願った。



挨拶の馬渡部長



乾杯の星子副会長